

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 729

所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当者名	大西 敏之
事業名	子ども読書の街づくり推進事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	子ども読書の街づくり推進事業			政策体系	131
会計	一般会計	科目	10.教育 - 5.社会 - 3.図書		

1. 事業の概要

文部科学省による「子ども読書の街」づくり委託事業により、子どもが自主的に読書活動を行えるよう、オーサー・ビジット事業など学社連携して南丹市全体で更なる読書推進を図る。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

子どもの読書環境の整備及び読書活動への興味・関心の向上を図るとともに、その保護者らにもサポートへの理解を求め、事業を通じて市民の自発的な学習活動への参加を促進する。

②事業を実施する必要性

児童生徒の「読む・調べる」習慣の確立するため、学校・地域・家庭が連携して街全体でモデル的に取り組むことにより、読書活動への興味・関心を喚起させる。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円				4,561	0	0	0
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円				2,034	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0	0	0	0
	国・府支出金	千円			4,561	0	0	0
	地方債	千円			0	0	0	0
	一般財源	千円			0	0	0	0
職員等の従事人員	人/年	—	—		4.22			
人件費	千円	—	—		11,378			
事業費総額	千円	—	—		13,905			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

臨時職員賃金	2,034,250円
作家等の講師料(5名6講演)	1,895,000円
作家等招聘時費用弁償(旅費等)	178,640円
消耗品費	400,320円

5. 事業結果の概要

- ・学校図書館MORE活性化事業
- ・オーサービジット（作家を招聘し、小中学校で直接指導を行う）事業
17校で実施
- ・読書フォーラム(市民対象)の実施
3箇所を実施

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) オーサー・ビジット事業		
長谷川義史氏(絵本作家)による直接指導(講演) ・9月4日(吉富小、神吉小、殿田小) ・3月9、10日(大野小、美山中、胡麻郷小・新庄小)	9月4日、3月9日、3月10日	のべ540人
あきやまただし氏(絵本作家)による直接指導(講演) ・宮島小、知井小	10月2日	88名
金原瑞人氏(翻訳家・法政大学教授) ・殿田中、美山中、八木中 ※兼京都府南丹教育局管内教職員研修	12月10日、12月11日	延べ460人
水谷 修氏(作家) ・園部中 ※兼京都府南丹教育局管内教職員研修	1月18日	485人
川端 誠氏(絵本作家) ・園部第二小、摩気小、川辺小、平屋小、園部小	2月2日～4日	延べ931人
(2) 学校図書館MORE事業		
市内小中学校(21校)に学校図書館指導員を配置し、絵本の読み聞かせやブックトークなどを行い、読書環境の整備充実に努めた。	年間	
(3) 読書フォーラム		
・長谷川義史氏(美山文化ホール) ・あきやまただし氏(国際交流会館) ・富安陽子氏(国際交流会館) ※あきやまただし氏講演会は「なんたん子育てフォーラム」との共催事業	9月5日、10月3日、2月20日	延べ348人

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

・全国でも10箇所程度しか委託されない子ども読書の街づくり事業を実施することができ、子どもの読書環境への整備及び読書活動への興味・関心の向上を図ることにより、子ども達だけでなくその保護者や教職員へも波及効果を生み出すことができた。
・オーサービジット事業では、市内17校2,504名の児童生徒に作家が直接指導する事業を行うことができ、近年問題となっている子どもの読解力の低下に対しても効果的な事業となった。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

--